



前回、社会資本プロジェクトを計画する際には、「ランドシャフト」の概念を取り入れるべきだと書いた。「ランドシャフト」とは、人間の五感と心に訴える部分である。さて、人間の五感と心で感じながらプロジェクトを計画するといふことは、いったいどういふことなのだろうか。

通常、視覚的に美しいかどうかの判断は、その人がこれまでに見たことのあるものと、目の前の状況とを比較をして判断する。

近自然思想によるプロジェクト結果の視覚的良し悪しの判断は、今まで見たことのある自然との比較になる。つまり、それまでに多くの自然と接している人ほど、その判断にはばらつきがなくなるというのだ。可能な限り自然の中に身を置くことが重要になる。

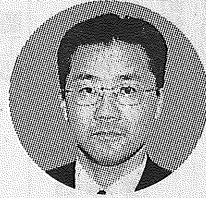
【臭覚】  
臭覚は、視覚と似ていて、これまでに嗅いだこ

### 欧州環境共生事情③

#### ランドシャフト その2

ハタコンサルタント  
代表取締役

降旗 達生



とのある匂いとの比較で、匂いの判断をする。出会ったことのない匂いは、判断がつかないことが多い。針葉樹と広葉樹では木の匂いは異なる。これがわかるまでにはかなりのトレーニングが必要だ。

【触覚】  
五感の中で触覚は、最も未開発な部分だ。逆に開発することで、ますます進化する。  
このため、近自然思想でプロジェクトを計画する際に触覚を感じようとするれば、目をつむって触ったり歩いたりすることをお勧めする。

【聴覚】  
音に対する嗜好は、人により大きなばらつきがある。ほんのわずかな音でも気になって眠れない人がいると思えば、あまり静かだと怖くて眠れないという人もいる。

また、水の流れ方によってせせらぎの水音は異なる。景観技術者はこの音を聞き分けられない。

(つづく)